

- ▶ 本県では、新規就業者は平成22年度の101人（県全体1,166人）をピークに減少傾向にあり、平成30年度では68人の新規就業者（県全体940人）と目標数値の1,220人を大きく下回っており、担い手対策は喫緊の課題となっている。
- ▶ そこで、既存の「森のジョブステーションぎふ」の業務を拡充し、今後の就職を目指す学生や転職希望者に林業の魅力伝える機会の創出し、これまでの取り組みと合わせて林業の就業相談から技術習得・定着化までを一貫してサポートする方針
- ▶ 令和元年度においては、以下の取り組みにより、農林高校生263名、転職希望者116名に対し林業就業に関する意見交換を行った。
 - ・ 「森のしごとセミナー」では、林業の魅力のトークセッション等を実施した。また、就職相談ブースを設置し、就業相談を行った。
 - ・ 「森ジョブスカウト」では、県内の農林高校生（1～2年生）を対象に林業就業促進授業の開催と生徒との意見交換を行った。

□ 事業内容

1 森のしごと普及啓発事業

- ・ 林業の担い手確保を図るため、岐阜県の林業の魅力を広く知っていただくための事業を展開した。

【事業費】 7,676千円（うち譲与税7,676千円）

【実績】

<森のしごとセミナーの開催>

- ・ 会場：ウインクあいち（名古屋市内）、一般参加者：116名
- ・ 森林技術者6名による林業の魅力伝えるトークセッション
- ・ 林業就業等の相談件数75件

<森ジョブスカウト>

- ・ 県内の農林高校（4校）に出向き林業就業促進授業の開催
- ・ 生徒263名の参加、林業経営者との意見交換の開催

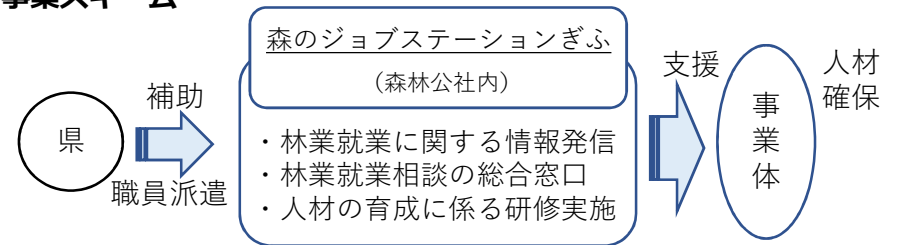


(森のしごとセミナー)



(森ジョブスカウト)

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- ・ 森林技術者をゲストに招き、参加者に対して現場で働く人の声を届けたり、会場の決定に就業相談件数が多い名古屋市内に設定するなど工夫した。
- ・ 進路の方向を決める2年生等との意見交換に、若手の森林技術者も参加していただき、現場の生の声が学生に届くよう工夫した。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	136,701千円
②私有林人工林面積(※1)	237,443ha
③人口(※2)	2,031,903人
④林業就業者数(※3)	1,860人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より

※2, 3：「H27年国勢調査」より